

セキュアでサステイナブルなインターネットアーキテクチャ 論文特集の発行にあたって

セキュアでサステイナブルなインターネットアーキテクチャ
論文特集編集委員会

委員長 曾根 秀昭



インターネットは現在の産業及び生活活動を支える基盤としての役割を担うようになったが、それに伴って不正利用やネットワークワームなどの脅威が社会問題化し、これに対処できるセキュアな基盤構築と運用管理のための技術の研究が緊急に求められている。加えて、今後の新たな社会の要求に柔軟に対応できるような高い拡張性をもたらすサステイナブルなアーキテクチャの構築技術も不可欠な研究課題であり、これらについて多くの研究者によって研究が進められている。

このような状況にかんがみ、「セキュアでサステイナブルなインターネットアーキテクチャ」を実現する新しいネットワーク時代の展開を推進するために、新しいインターネットの基本設計や設計思想につながる基盤技術と運用技術を中心として、幅広く新しいインターネット技術の展開に関する論文、特に、ミドルウェア技術とアプリケーション技術の分野の研究開発の論文を募集した。御投稿頂いた22編にも及ぶ多数の論文に対して厳正な査読を行った結果、ネットワーク計測技術、ミドルウェア技術、セキュリティ技術及びインターネットルーティングなどにかかわる計9編の論文が採択された。また、組織内外の多くのシステムを結びつけることを可能にしてサステイナブルなアーキテクチャを具現化した事例から、東京工業大学のキャン

パス共通認証認可システムの構築と運用に関するシステム開発論文を招待論文として寄稿頂いた。

本特集の10編の論文は、近い将来のネットワーク技術の要となるセキュアでサステイナブルなインターネットアーキテクチャを実現するための技術をテーマとして、それぞれの取り組みにより得られた貴重な成果として論じたものであり、全体としてこの研究テーマの進展をうかがわせるものになったと思う。本特集がインターネットアーキテクチャ及び関連分野の技術のいっそうの発展に寄与できるものと信じる。

末筆になるが、本特集の企画から発行にあたって、最新の成果を反映した原稿を御投稿頂いた方々、御多忙の中で論文査読に御協力下さった査読委員の方々、企画と編集に御尽力頂いた編集委員と幹事各位、並びに予定どおりの発行のために大変御支援頂いた事務局の方々に深くお礼を申し上げます。

おね ひであき
曾根 秀昭（正員：フェロー） 1980東北大学大学院工学研究科了。2001から東北大学情報シナジーセンター（2008サイバーサイエンスセンター）教授、情報科学研究科、総長特別補佐など兼任。電子応用計測、環境電磁工学、ネットワーク応用及び運用管理などの研究と情報基盤の企画・運用などに従事。IEEE、計測自動制御学会、電気学会などの会員。本会で現在IA、EMCJ、EMD、SITEの研究専門委員、2004～2007ネットワーク運用ガイドライン検討WG主査。

セキュアでサステイナブルなインターネットアーキテクチャ論文特集編集委員会

委員長	曾根 秀昭
幹事	岡部 寿男・古村 隆明
委員	秋山 豊和・石川 憲洋・今泉 貴史・衛藤 将史
	小川 淳・河合 栄治・吉田 健一・山崎 克之